

コロナ禍における大阪府での 自殺の傾向とその背景

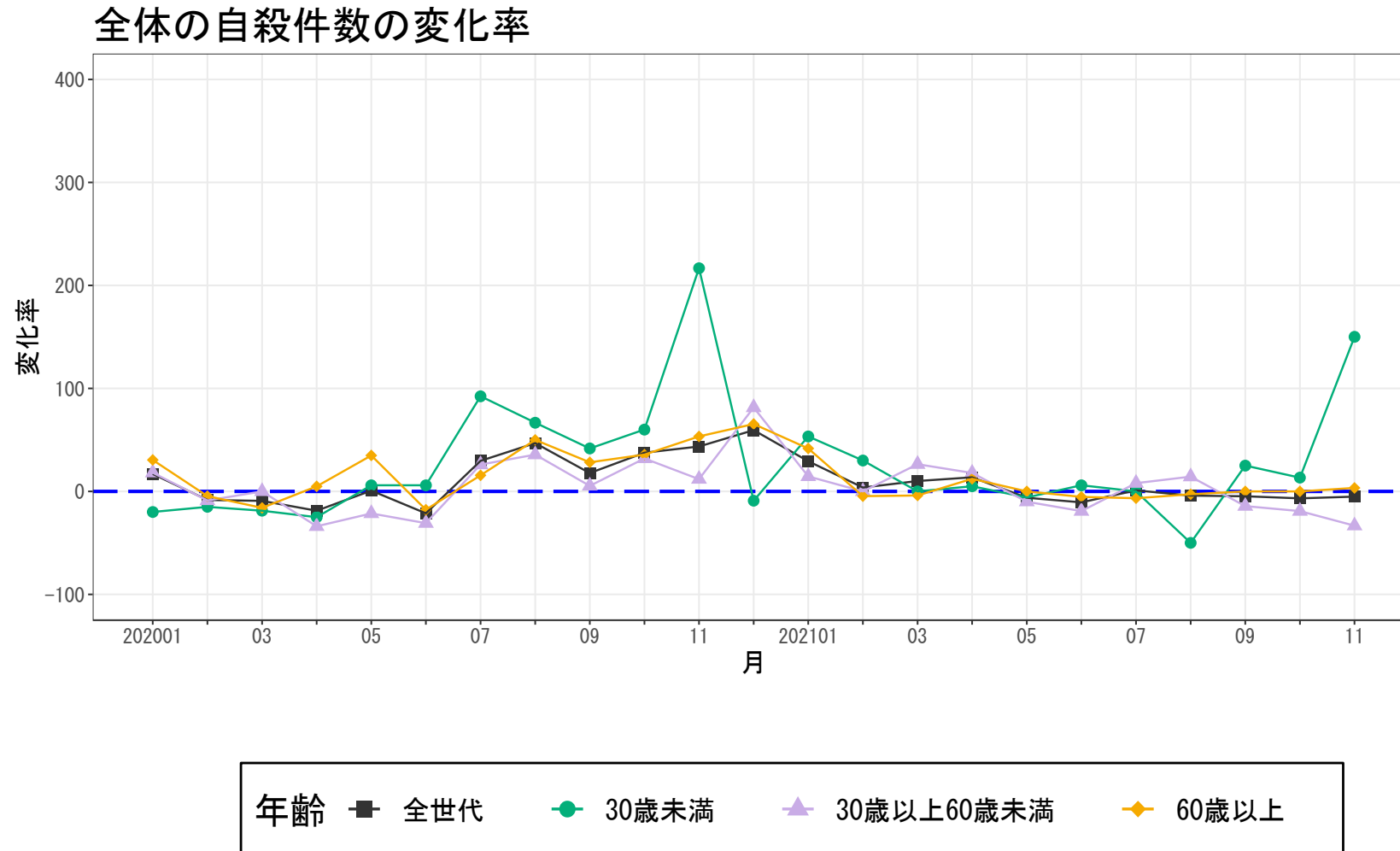
大阪大学大学院国際公共政策研究科

松林哲也

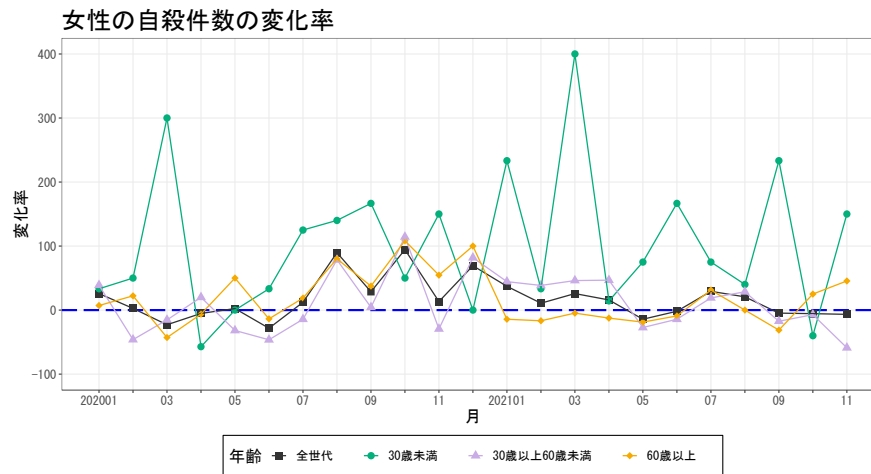
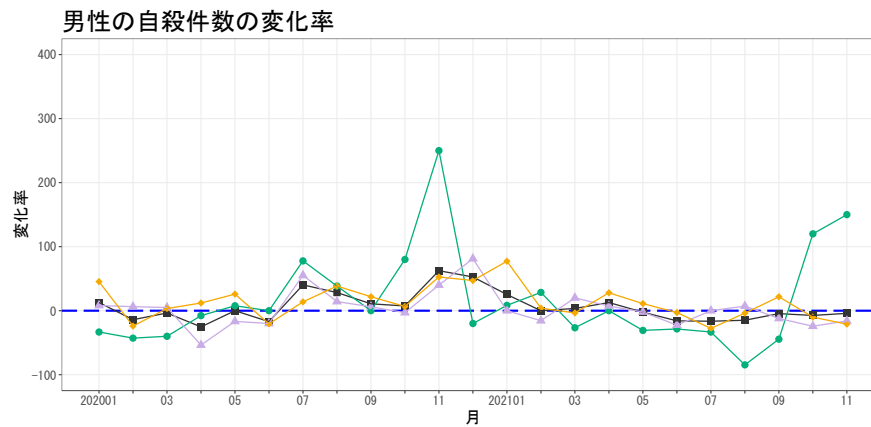
目的

- 2020年以降のコロナ禍で大阪府の自殺の傾向は変化したのか？
- コロナ禍における経済状況の悪化は自殺率にどのような影響を及ぼしたのか？
- 性別・年齢別の自殺率、地域別の自殺率を時系列に比較
- 2019年から2021年にかけての月別自殺データ、生活保護申請データ使用

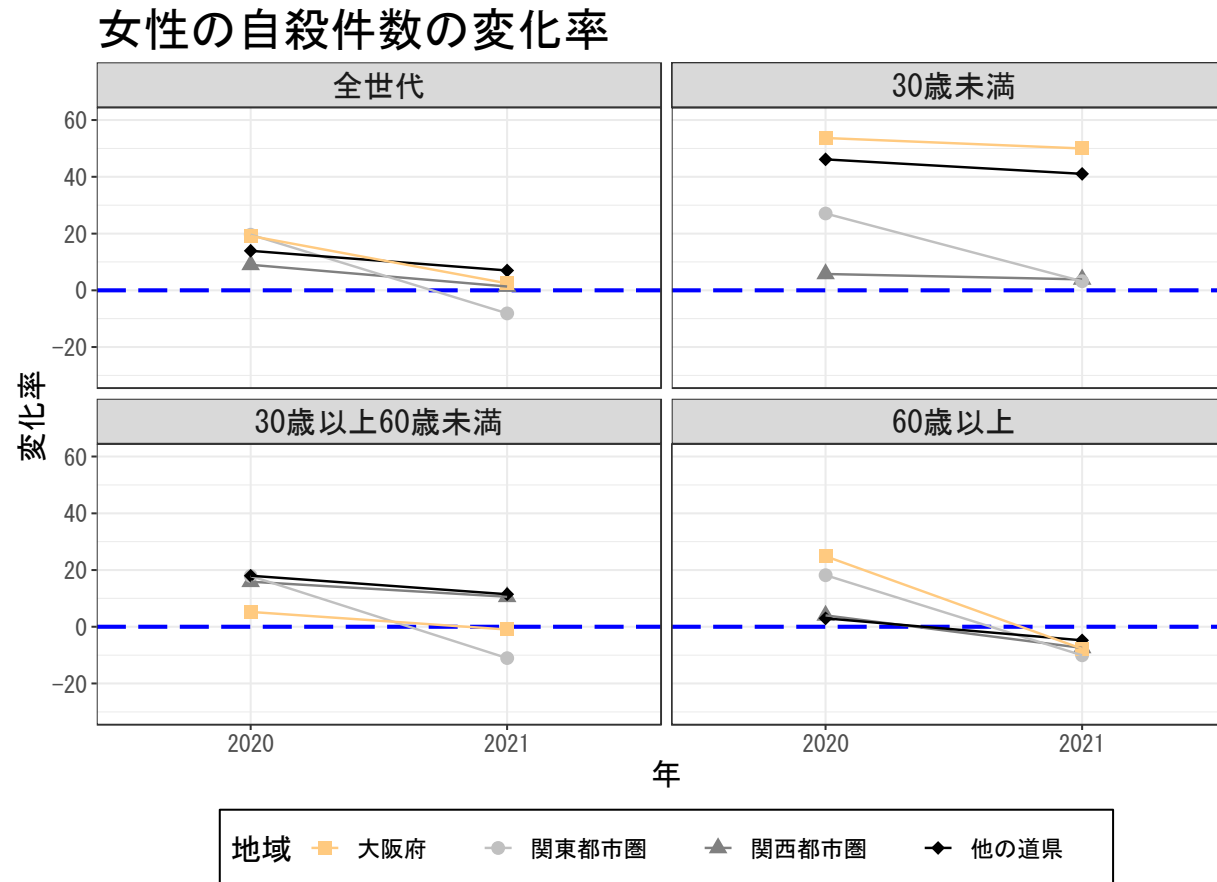
大阪府ではコロナ禍が始まった2020年に自殺が増加したが、
2021年には減少した（2019年との比較）



2020年と2021年の自殺増加が特に若年女性で顕著 (2019年との比較)



全国的に見ても、大阪府での若年女性の自殺の増加は著しい
(2019年との比較)。



府内各市町村における月別生活保護申請件数と月別自殺率の間に 正の関係を認めることはできない

	結果変数：自殺率			
	全世代 (1)	30歳未満 (2)	30歳以上 60歳未満 (3)	60歳以上 (4)
当月申請率	-0.014** (0.005)	-0.009 (0.008)	-0.004 (0.009)	-0.030*** (0.010)
前月申請率	-0.0001 (0.005)	-0.008 (0.005)	0.015 (0.010)	-0.012 (0.011)
前々月申請率	-0.0001 (0.005)	0.006 (0.008)	-0.001 (0.007)	-0.005 (0.010)
観測数	1,184	1,184	1,184	1,184
調整済み R ²	0.083	0.012	0.032	0.058

*p<0.1; **p<0.05; ***p<0.01